

ClassNK 環境部 GHG認証事業のご紹介

May 2024

1. 温室効果ガス（GHG）排出量の算定と認証
2. GXリーグ認証
3. グリーンスチール認証
4. SHIFT事業認証
5. Jクレジット認証
6. 物流におけるGHG排出量認証
7. ICAO CORSIA検証

温室効果ガス（GHG）排出量の算定と認証

スコープ1、2、3とは

事業活動に関連する全てのGHG排出

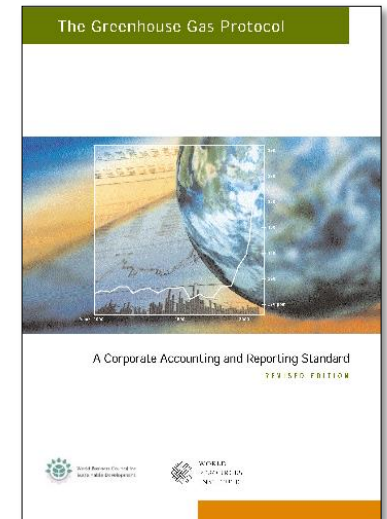
- 企業の気候変動対策に対する社会の要求の高まりから、企業は自らの事業活動による排出だけでなく、事業活動に関連する全ての排出を算定・公表することが求められています
- GHG排出量算定・報告の国際基準「GHGプロトコル」では、排出の範囲が定義されています
 - ✓ スコープ1： 事業者自らによる直接排出
 - ✓ スコープ2： 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
 - ✓ スコープ3： 事業者の活動に関連する他社の排出



ClassNKのサービス

温室効果ガス（GHG）排出量の算定と認証

- ClassNKでは第三者検証における永年の経験を基に、温室効果ガス（GHG）排出量の検証サービスを提供しております。
- GHGプロトコル、ISO14064-1の規格要求に従ったGHG算定報告の認証を行います。



GXリーグとは

グリーンTRANSフォーメーション（GX）への挑戦

- 日本のGHG削減目標である2050年カーボンニュートラルの実現と社会変革を見据えて、GXへ挑戦する企業が産官学と協働する場（GXリーグ）が創設されます



- GXリーグには、3つの場が提供されます
 - ✓ 2050年カーボンニュートラルのサステナブルな未来像を議論・創造する場
 - ✓ カーボンニュートラル時代の市場創造やルールメイキングを議論する場
 - ✓ 自ら掲げた目標に向けて自主的な排出量取引を行う場
- 東京証券取引所においては、J-クレジットを対象とした排出量取引が試行的に開始されています
- 2022年9月末時点で、ClassNKを含む496の企業がGXリーグ基本構想に賛同しています
- ClassNKは排出量取引制度（GX-ETS）の認証機関として登録されています（<https://gx-league.go.jp/rules/verification/registered-verification-body>）

ClassNKのサービス

排出量取引における第三者認証

- ClassNKは、「自主的な排出量取引の場」であるカーボンクレジット市場（GX-ETS）において売買されるクレジット（J-クレジットなど）を認証します
- 「市場ルール形成の場」において、カーボンフリー商品の認証制度など、EUをはじめとする海外諸制度に劣らない新たなビジネスモデルの構築に協力し、専門性の高い認証を提供します

選ばれる理由 — 豊富な実績に基づく専門性の高い審査

- ClassNKには、J-クレジット制度、SHIFT事業を始め、GHGプロトコルやGRIスタンダードなどの民間規格も含めた多くの認証実績があります
- 技術的知見を有する経験豊富な審査員が、業種を問わず、専門性の高い審査を提供します

グリーンスチール認証

グリーンスチール認証

グリーンスチール（温室効果ガスを極力発生しない方法で製造された鉄鋼、鋳造品）の製造工程におけるGHG検証事業

グリーンスティールと従来製品製造に関わるカーボンフットプリント値を比較することにより、その製造の変更に伴うGHG排出削減量を算定、マスバランス方式によるグリーンスチールの創出について認証致します。中立公正な立場からISO国際規格に基づきGHG排出削減量の検証を行うことにより、カーボンフットプリント値データの収集、算定の適切性を確認し、グリーンスティールへの取り組みに対する社会的信頼性の向上に寄与致します。



GHG認証の基準

- ISO14067: 2018 温室効果ガス – 製品のカーボンフットプリント算定の要求事項と手引き
- JIS Q20915 : 2019年版 鉄鋼製品のライフサイクルインベントリ計算方法
- ISO14064-3:2019 温室効果ガス – 第3部：温室効果ガスに関する声明書の妥当性確認及び検証のための仕様並びに手引
- 鉄鋼製品ユーザー（特に、自動車メーカーが関心）へのスコープ3の削減に寄与



SHIFT 事業とは

工場・事業場における脱炭素化を推進

- SHIFT事業*とは、日本の脱炭素目標である「2050年カーボンニュートラル」に資する企業の取り組みを支援する国の事業です
*Support for High-efficiency Installations for Facilities with Targets（工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業）
- SHIFT事業に採択されると、国より補助金が交付されます
- SHIFT事業（設備更新補助事業）へ参加の際は、算定した排出量について、第三者検証機関による検証が必要となります



(出所：環境省)

ClassNKのサービス

基準年度・削減目標年度の排出量検証

- ClassNKは、SHIFT事業検証機関として、基準年度・削減目標年度の排出量の検証を実施しています

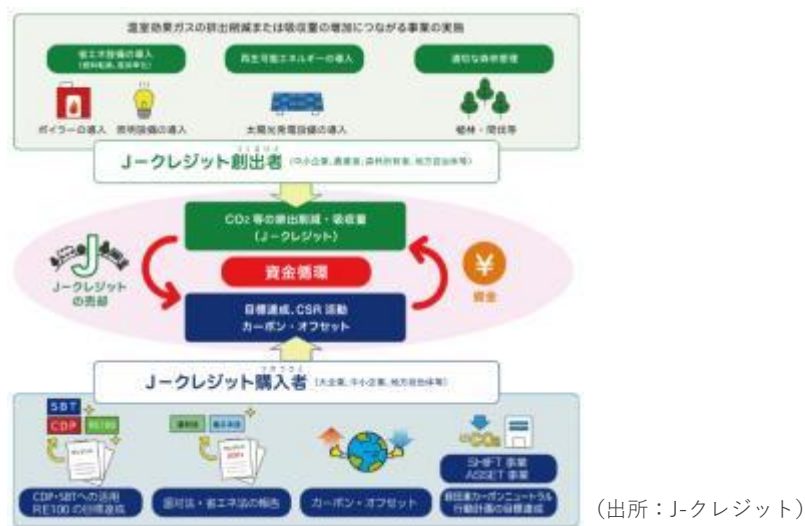
選ばれる理由 — 豊富な実績に基づく円滑な検証

- 年間20件～30件の検証実績があります
- 検証先は、病院、ホテル、工場、事業所など、多岐にわたります
- SHIFT事業の実施ルールやモニタリング報告ガイドラインに精通した審査員により、円滑な検証を実施します

J-クレジット制度とは

GHG削減量・吸収量をクレジットして国が認証する制度

- J-クレジット制度は、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるGHG排出削減量や、適切な森林管理によるGHG吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です
- 創出されたクレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボンオフセットなど、様々な用途に活用できます



- 2022年より、J-クレジットの市場取引が東京証券取引所にて開始されており、J-クレジットのニーズが高まっています

ClassNKのサービス

プロジェクト計画書の確認・モニタリング報告書の検証

- ClassNKは、J-クレジット登録審査機関として、エネルギー、工業プロセス、農業の分野でのプロジェクト計画書の妥当性確認およびモニタリング報告書の検証サービスを提供しています



選ばれる理由 — 豊富な実績に基づく円滑な審査

- ClassNKは、年間30件～50件のJ-クレジット審査を実施しています
- 太陽光発電、LED、バイオマス、エネルギー転換などの各方法論に基づいた多数の審査実績があります
- 審査員は各方法論を含めたJ-クレジット制度文書に精通しており、円滑な審査実施をお約束します

物流におけるGHG排出量の算定と検証

市場ニーズに応じて種々のご要請に応える検証を構築致します。

- ISO14065、GHG Protocol、GLEC（GLEC: Global Logistics Emissions Council）等による物流からのGHG排出量の算定・報告の検証
- 船舶におけるバイオ燃料等使用によるGHG削減量の検証
- 陸上輸送、外航、内陸海上輸送、航空輸送等、あらゆる輸送モードに対応可能
- シンプルで実用的な炭素会計のアプローチ
- CDPへの排出量報告、SBTの設定、他の方法論や業界標準との整合が可能
- 航空分野におけるSAF（Sustainable Aviation Fuel）によるGHG削減効果の認証、Scope 3の認証
- ボランタリークレジットによるGHG排出量 オフセット検証



ICAO CORSIA とは

国際民間航空のためのカーボンオフセット・削減スキーム

- 国際民間航空機関*では、CO₂排出量削減目標の達成を目指して、カーボンオフセット・削減スキーム**が段階的に導入されています

*International Civil Aviation Organization (ICAO)

**Carbon Offsetting and Reduction Scheme for International Aviation (CORSIA)

削減目標

✓ 2050年までにCO₂排出実質ゼロ



- ICAOに加盟国は、2019年より排出量の報告を義務付けられており、2027年からは排出量の削減が義務化されます

CORSIAへの参加

| | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| パイロットフェーズ (2021-2023) | ICAO加盟国による自主的な参加 (2022年1月時点で107ヶ国) |
| 第1フェーズ (2024-2026) | |
| 第2フェーズ (2027-2035) | 後発開発途上国等を除くすべての ICAO加盟国が参加 |

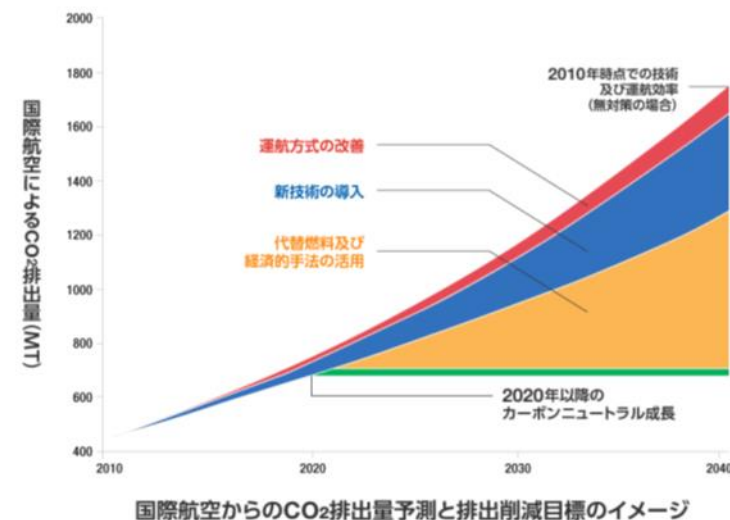
ClassNKのサービス

CO₂排出量の検証

- CORSIAに基づく認定検証機関として、航空会社向けにCO₂排出量の検証を行っています

選ばれる理由 — 日本唯一の認定検証機関

- ClassNKは、CORSIAにおける日本で唯一の認定検証機関*です
*日本適合性認定協会 (JAB) の認定取得済
- 国内全ての航空会社様を始め、世界の様々な航空会社様向けに排出量の検証を行っています



お問い合わせ先

一般財団法人 日本海事協会 環境部 GHG部門

- 住所：〒102-8567 東京都千代田区紀尾井町4-7
- 電話：03-5226-3025
- e-mail：ghg@classnk.or.jp
- 部長：越智 宏
- 管理責任者：山本 謙一郎
- 事務担当者：竹内 秀介